

各位

上場会社名	エムケー精工株式会社
代表者	代表取締役社長 丸山 永樹
(コード番号)	5906)
問合せ先責任者	常務取締役管理本部長 小林 文彦
(TEL)	026-272-0601)

## 業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成22年5月7日に公表した業績予想及び配当予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

### ● 業績予想の修正について

平成23年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成22年3月21日～平成22年9月20日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	9,200	120	90	40	2.76
今回発表予想(B)	7,600	△370	△400	△370	△25.51
増減額(B-A)	△1,600	△490	△490	△410	
増減率(%)	△17.4	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成22年3月期第2四半期)	8,764	198	123	67	4.66

平成23年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成22年3月21日～平成23年3月20日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	18,700	370	250	120	8.27
今回発表予想(B)	17,000	△390	△500	△600	△41.37
増減額(B-A)	△1,700	△760	△750	△720	
増減率(%)	△9.1	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成22年3月期)	17,858	314	226	65	4.53

#### 修正の理由

##### (1) 当第2四半期連結累計期間の業績予想

主力のオート機器事業につきましては、SS等関連業界の設備投資の停滞により、総じて厳しい経営環境で推移する中、第1四半期においては概ね想定範囲内で推移いたしました。続く第2四半期においても、想定内で推移するものと見込んでおりましたが、顧客の設備投資意欲減退による需要減少の影響は、当社の想定を大きく上回るものであり、その結果、売上高は前回予想を下回る見通しとなりました。

情報機器事業におきましても、アミューズメント等関連業界の設備投資の停滞や官需関連の売上計上の下期へのずれ込みにより、想定を下回る売上推移となりました。

また、住設機器事業におきましては、個人消費の低迷や設備投資の抑制を受け、予定通りの受注及び売上確保は難しく、予想を下回る見込みであります。

利益面につきましては、上記売上高の減少による影響に加え、生産減少に伴う操業度の低下などが収益圧迫要因となり、減益となる見込みであります。

##### (2) 通期の連結業績予想

通期連結業績予想につきましては、円高、株安の進行等を背景とした企業収益の悪化や設備投資の停滞、雇用不安による個人消費の縮小等、景気の先行きについては不透明感を増しつつあり、また、関連業界の競争激化により、当社業績においても第2四半期連結累計期間同様の厳しい状況が続くものと想定されます。

このような状況の中、引き続き生産合理化をはじめとする効率化及びグループを挙げての一層の経費削減に取り組む所存ですが、当社を取り巻く環境及び第2四半期連結累計期間までの進捗状況を踏まえ、上記のとおり修正いたします。

## ● 配当予想の修正について

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想 (平成22年5月7日発表)	—	0.00	—	5.00	5.00
今回修正予想	—	0.00	—	0.00	0.00
当期実績	—	0.00	—		
前期(平成22年3月期)実績	—	0.00	—	5.00	5.00

### 修正の理由

当社は株主の皆様への利益還元を経営の重要な施策と認識し、中長期の事業展開を念頭に財務体質のための内部留保とバランスを考慮した安定配当を実施することを基本方針としております。

しかしながら、第2四半期連結累計期間までの業績及び今後の経営環境に対する厳しい見通し等を総合的に勘案した結果、期末の配当金につきましては、誠に遺憾ながら無配とさせていただきます予定であります。

(注)上記の業績予想の数値は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により予想数値とは異なる場合があります。

以 上